

【22_036/思考系メルマガ】続・リスクをさらに『具体化』しよう
～コントロール不可能なリスクについて～

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今週は、まさかの「弱毒化した」と言われた新型コロナにほぼ1週間傷めつけられましたが(笑)

相場環境は僕の『型』的にはいい週だったなあと思いながら

先程ひととおりの振り返りを終えました。

今週は寝込んで見送りが多かったですが、検証するのに良いと思った場所は簡単にツイートして

今週の各メルマガにも載せておいたので、各自のチャートで同じポイントをチェックしてみてくださいね。

～～一応再掲載～～

▼GBPAUD(S)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1488021469804507138?s=20&t=wbQQT3tqQoRHjUhhQnzdXw>

▼GBPJPY(S)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1488814460190228482?s=20&t=wbQQT3tqQoRHjUhhQnzdXw>

▼別日GBPJPY(S)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1489541079674527748?s=20&t=wbQQT3tqQoRHjUhhQnzdXw>

今週は、この辺を卒なく取れると、ロット次第で余裕の週利10%確保は出来るくらい

いい動きをしていたと思います。

このメールを読んでくれる人やコミュニティーからも、同じところでトレード出来たとの報告を沢山頂いたので

お互いの共通認識が固まっていることを実感できて

自分がトレードしているのと同じ位嬉しく思っています(笑)

～～

□
■ 昨日の続き <コントロール不可能なリスク>について考える

昨日お送りした【35】のメルマガの中で、<コントロール可能なリスク>について
言及してきました。

今回は、その対岸にいる<コントロール不可能>なリスク。

要するに、トレードする以上は『全トレーダーが受け容れないといけない』リスクについてです。

これは、不確定要素になり得るものは全て該当するので、連想するものを挙げたらキリがなくなりますが

その中でも特に重要なのは2つ。

1. 回避できない損切りの可能性(=相場の不確実性)

と、これはあまり注目されることが少ないのですが

2. 時間経過によるリスク

です。

「1.」については、これまでに別のテーマでも何度も触れてきたことですが

『型』を決めてトレードする以上、セットアップが整えばエントリーします。

ですが、その『型どおりのトレード』が「必勝」を保証してくれるわけではなく

損切りするときはする、という当たり前の認識を持っておかななくてはなりません。

2日前のメルマガでも触れたように『事前に損切幅を決める』のは、この『1. 回避できない損切り』に対して

損失を最小限に抑えるための『リスクコントロール』と直結するわけです。

もう一つの「2. 」については、長期保有(数日規模のセミスイングトレード)をスタイルにしたい人が

必ず向き合わなければいけないリスクです。

先に説明で出てきた『相場の不確実性』というのは、時間に比例して増大します。

理由は単純で、保有時間が長くなる程「先の見えない色々な事が起こるリスク」を全て呑み込んでうえて

そのポジションを保有しないといけないからです。

例えば

同じ場所でリスクを10pips抱えてポジションを取った時に、30pipsで利確をする人と

100pipsまで引っ張る人とは、ポジションの保有時間が長くなるのは必然的に後者です。

ポジションの保有時間が長くなるという事は、その分だけ「不測の事態」に巻き込まれるリスクは増大します。これは当然ですよ。

対して、建値移動・分割決済を併用するとか

増大するリスクに応じて『コントロール出来る範囲で』リスクを抑える対処まで考えているなら問題ないですが

そのあたりのリスクを認識せずに、丸腰で臨むのは無謀というものです。

今回、2通にわたって『リスク』の要素を具体化し、コントロールできないリスクを認識しつつ

コントロールできる範囲で『リスクを最小化』する工夫をする事の重要性について

僕なりの言葉でまとめてみました。

今、自分の中で「かなり無理のあるトレードをしてしまっているなあ」と感じている人は

今回の話を通して、これまでのトレードを見返すキッカケに活用して貰えたらいいなと思います。